

平成16年6月8日  
原子力安全対策課  
(16-23)  
<14時00分記者発表>

## 敦賀発電所1号機の原子炉自動停止について (調査状況)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

### 記

敦賀発電所1号機は、平成16年1月3日から定格熱出力一定運転中のところ、平成16年6月8日11時04分、タービン加減弁の急速閉により「負荷遮断」の警報が発報し、原子炉が自動停止した。

停止後、必要な所内電源は確保されており、原子炉の冷却系統は正常である。また、本事象による周辺環境への放射能の影響はない。

[平成16年6月8日12時発表済]

停止前のプラントの状況を確認したところ、

- ・プラントの運転パラメータに特に異常は認められないこと
- ・送電系統に異常がないこと
- ・昨日(6月7日)に行った「タービンバイパス弁作動試験」(1回/週)において、タービン加減弁およびタービンバイパス弁が正常に動作しなかったことから、当該弁の作動機構に注油を行った後、本日再度、作動試験を実施していたこと

などが確認された。

今後、詳細な原因調査を実施する。

(注)タービンバイパス弁作動試験

ロードリミッタ(負荷制限装置)を操作することにより、タービン加減弁の開度をわずかに絞り、バイパス弁が開動作することを確認する試験。

(経済産業省によるINESの暫定評価尺度)

基準1	基準2	基準3	評価レベル
-	-	0+	0+

# 主蒸気系概略系統図

